

乗鞍 高山植物図鑑

乗鞍岳で出会える
52種お花を
ご紹介



中部山岳国立公園
乗鞍岳〈乗鞍スカイライン〉

参考資料/岐阜県乗鞍環境パトロール資料「乗鞍 花三昧図鑑」
協力/五色ヶ原の森案内人の会

1

コマクサ



高さ5～15cm。

砂礫地などに生える。葉は細かく裂けてパセリのような。

魔王岳、大黒岳、富士見岳、鶴ヶ池周辺で群生。お花畑にはない。

2

コイワカガミ



高さ10～15cm

草地、砂礫地、ハイマツの縁などに生える。葉は円形で光沢がある。

魔王岳、お花畑、鶴ヶ池周辺で群生。

3

ミヤマクロユリ



高さ10～20cm

雪田などの湿った場所に生える。

花は暗紫褐色で少し黄色がまじり、茎の先に1～3個斜め下向きに咲く。

お花畑で多く見られる。

4

ヨツバシオガマ



高さ10～40cmで広葉草原や

風あたりのやや強い草地に生える。

花は紅紫色で茎の上部に4個、4～8段に輪生。

鶴ヶ池周辺、お花畑に群生。

5

ハクサンイチゲ



高さ20～50cm。

花は直径2～2.5cmで2～6個つく。

大黒岳、鶴ヶ池周辺、お花畑など全域で見られる。

6

コゲイケイソウ



高さ0.5～1m。

花は白色で円錐状に多数つき、両性花で側枝に雄花がつく。

根茎は有毒。

鶴ヶ池周辺、お花畑入口に点在。

7

ミヤマキンバイ



高さ7～20cm。

砂礫地、草地、雪田の周辺などに生える。葉は3枚、まれに5枚。花は

2～7個。鮮黄色で直径1.5～2cm。

鶴ヶ池周辺、大黒岳、お花畑などで群生。

8

シナノオトギリ



高さ10～30cm。

草地や砂礫地に生える。つぼみは赤く、花は直径2.5～3cmで1～数個つき

鮮やかな淡黄色。秋には葉が真っ赤に紅葉する。

鶴ヶ池周辺、お花畑入口などに群生。

9

ミヤマダイコンソウ



高さ10～30cm。

岩隙や斜面の岩礫地などに生える。

葉、茎、がくなどに剛毛がある。

花は鮮黄色で直径1.5～2cm。

大黒岳で多く見られ、お花畑不動側でも点在。

10

ウサギギク



高さ15～35cm。

草地に生え、全体に縮毛が密生する。
花は黄色で直径4～4.5cmで1個
つける。高山蝶が止まって蜜を吸
う姿がよく見られる。

鶴ヶ池周辺、お花畑で点在。

11

ミヤマキンポウゲ



高さ10～30cm。

草地や岩礫地、雪田などでも群生
する。茎は太くてまっすぐに伸びる。
花は茎の先に数個つき、黄色で直径
1.5～2cm。

鶴ヶ池周辺、お花畑に群生。

12

チングルマ夏



高さ10cm。

葉は暑くて光沢があり、花は秋に
なると綿毛になる。

鶴ヶ池周辺、お花畑などで群生。

13

チングルマ (秋の綿毛)



花が終わり花柱が放射状に伸び
綿毛となる。落葉小低木であるため、
紅葉も楽しめる。

子供の風車に見えたことから稚児車
と呼ばれる。

14

ミヤマアキノキリンソウ



高さ15～20cm。

草地や礫地に生える。花は多数集
まって咲き、黄色で直径1.2～1.5cm。
花が終わると綿毛になる。

鶴ヶ池周辺、お花畑で群生。

15

ミヤマコウゾリナ



高さ10～40cm。

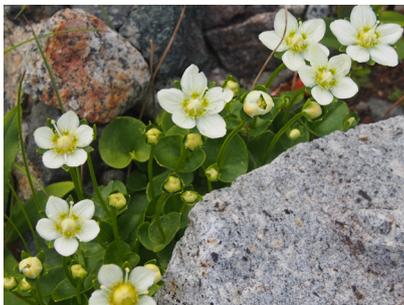
全体に柔らかな感じがする。

花は数個つき、濃い黄色で直径1.5
～2cm。つぼみは黒みを帯び、褐色
の長毛と茶褐色の密な短毛がある。

鶴ヶ池周辺、お花畑に点在する。

16

コウメバチソウ



高さ3～15cm。

高山帯の湿地、岩隙などに生える。
葉は丸く、茎にくっついている。

鶴ヶ池周辺、お花畑で群生。

17

イワツメクサ



高さ10～20cm。

マット状に広がり、花は茎の先に
白い花を1～8個まばらにつける。

鶴ヶ池周辺、お花畑、魔王岳頂上
付近で株になって群生。

18

ミヤマタネツケバナ



高さ4～5cm。

茎の先に白い小さな花を2～6個
つける。

魔王岳階段横などにひっそり咲く。

19 ミネウスユキソウ



高さ10cm程度。

高山帯のやや乾燥した草地、礫地に生える。葉の表面は緑色で綿毛はないが、裏面には綿毛が密生する。白雲荘周辺石垣、スカイライン上に数株。

20 ホソバツメクサ (別名コバノツメクサ)



高さ2~8cm。

よく株分けをして株を作る。花は星形の白色で直径5mm。白雲荘向かいの鶴ヶ池周辺で群生。

21 ミヤマミミナグサ



高さ5~20cm。

高山帯の砂礫地、岩礫地に生える。鶴ヶ池周辺の特に白雲荘向かいや石垣に点在。

22 ミネズオウ



高さ3~6cm。

砂礫地、岩壁などに生える。花は鐘型で赤みを帯びた白色。魔王岳頂上付近、大黒岳、お花畑で群生。

23 シラタマノキ



高さ10~30cm。

葉は革質で白い花を1~6個つける。秋に白い実をつける。鶴ヶ池白雲荘側石垣上などに群生。

24 ツガザクラ



高さ6~15cm。

岩の割れ目や礫地、草地に生える。花は枝先に1~5個つき、横向きや下向きにつく。魔王岳に1か所、富士見岳下の道沿いに点在。

25 イワウメ



枝は地をはってマット状に密生。

花は直径1.5cmの短い鐘形で5中裂。大黒岳全域、富士見岳中腹~上部に見られる。花が終わると茎が伸びてくる。

26 コメバツガザクラ



高さ5~10cm。

茎は革質で3個輪生。魔王岳、大黒岳、富士見岳など山頂付近で多く群生。

27 イワヒゲ



高さ10cm。

花は約8mm壺上鐘型で浅く5裂し反り返る。富士見岳下の岩がむき出しになっているところに数か所群生。

28 アオノツガザクラ



高さ10~15cm。
草地や岩礫地に生える。花は壺形
で口がぎゅっと閉じている。
鶴ヶ池周辺、お花畑で多く見ること
ができる。

29 ジムカデ



高さ10cm程度。
草地や礫地、岩隙に生え、地を
はって広がる。花は白色に近く、
枝先に1個つけ、長さ4~5mmで
やや先がつぼまった広鐘形。
お花畑の一部に群生。

30 キバナシャクナゲ



風衝地、ハイマツ林の林縁に
生える。
葉は厚い革質で淡黄色の花が
3~6個つく。魔王岳、不消ヶ池
周辺やお花畑でも群生。

31 ミヤマゼンコ



高さ20~60cm。
葉は3~4回羽状に裂け、鋸葉は
鋭い。
お花畑に多く点在。夏になると、
ハナアブが多く止まっている。

32 モミジカラマツ



高さ20~50cm。
湿った草地に生える。花は直径
1~3cmで花弁はなく白い雄しべ
が目立つ。
お花畑入口付近で多く群生。

33 ハクサンボウフウ



高さ10~30cm。
上部で枝分かれし直径2~3mm
の白い花を多数つける。
お花畑や雪渓が融けた後の斜面に
群生。ツキノワグマの好物。

34 ウラジロナナカマド



樹高1~3m。日本固有種で中部地方
以北の亜高山帯から高山帯に生える。
葉は光沢がなく無毛。裏面は白く名に
由来する。他にタカネナナカマドがある。
雪田地帯、鶴ヶ池畔に点在。
秋の紅葉は見事。

35 シラネニンジン



高さ15~30cm。
葉はニンジンやパセリにそっくり。
高山帯の風衝草原では丈が低くなる。
お花畑で多く見られる。

36 イワギキョウ



高さ5~10cm。
葉は薄く、縁には突起状の浅い鋸葉
がある。青味の強いコバルトブルー
に近い紫色。斜め上向きに咲く。花に
毛はない。全域で見ることができ、
石垣やアスファルトの隙間にも群生。

37

チシマギキョウ



高さ5～15cm。

砂礫地、風衝草原などに生える。

先端に青紫の花を1個つける。

花の先は5裂、縁に長い毛があり下

向きに咲き、大きく開くことはない。

大黒岳、富士見岳の一部で郡生。

38

トウヤクリンドウ



高さ10～30cm。

花は淡い黄色に近く青緑色を帯びた

斑点があり、茎の先に1～数個つく。

お花畑、鶴ヶ池周辺、剣ヶ峰登山道

脇にも群生。

39

オヤマノリンドウ



高さ20～60cm。

草地や低木林の林縁に生える。

花は青紫で茎の先に1～7個つく。

完全に開ききることはない。

お花畑入口や魔王岳頂上から奥の

ハイマツの下に数株。

40

ハクサンチドリ



高さ10～40cm。

葉は3～6個つき、基部は茎を抱く。

花は紅紫色で総状に数個～10個

つく。

白雲荘向かいに1株あり、スカイライン

道沿いにはところどころに点在。

41

ネバリノギラン



高さ20～25cm。

湿った草地に生える。根生葉は長さ

4～25cmで花の外側は粘る。

秋になるとオレンジ色に紅葉する。

お花畑入口周辺に点在。

42

オンタデ



高さ0.3～1m。

砂礫地や岩礫地に生える雄雌

異株の多年草。

全域で見ることができ秋の種は

ライチョウの好物。

43

ショウジョウバカマ



高さ10～25cm。

やや湿った草地に生える。2～6個

の花を横向きにつける。

鶴ヶ池周辺、お花畑の湿った場所で

見られる。花が終わると丈が伸びる。

44

ミヤマアカバナ



高さ5～20cm。

草地やハイマツの下などに生える。

花弁は紅紫色で長さ4mm。

鶴ヶ池周辺、県境付近の側溝の中

などでも見られる。

45

ミヤマホツツジ



高さ30～50cm。

湿地の周辺や低木林に生える落葉

低木、花は外側が赤みを帯びた常緑

白色で3全裂する。魔王岳頂上より

大丹生池が見えるあたりと鶴ヶ池雪

渓向かいスカイライン道沿いに群生。

46

クロクモソウ



高さ10~40cm。

高山帯の溪流沿いの岩隙や草地に生える。花の1つは2~5mmで花弁は紫褐色で5個あり、質は厚い。

お花畑木道下に多く点在。

47

ミヤマイ



高さ10~40cm。

高山帯の湿った草地や砂礫地に群生する。花は茎の先につき、黒褐色で光沢がある。

お花畑木道沿いに一部群生。

48

ガンコウランの花



高さ10cm程度。

ハイマツの縁、風衝低木地などに生える雄雌異株。

魔王岳階段上部や頂上広場、大黒岳、お花畑などで見られる。

秋になると黒紫の実をつける。

49

ガンコウランの実



春の花の目立たない姿とは逆で、秋の実をよく目に留まる。

果実は熟すと甘い、ライチョウがよく好み採食する。

50

コケモモの花



林縁、草地、岩礫地などに生える。

葉の先は丸く光沢がある。

花は鐘型で薄いピンク。秋になると直径5~7mmの赤い実をつける。

全域で見られる。

51

コケモモの実



秋の果実は赤く1~5mmほどと小さい。

甘酸っぱく高山帯ではライチョウが好んで採食する。

52

ハイマツ



雄雌同株の常緑低木。若枝には赤褐色の軟毛がある。古い樹皮は黒褐色、ハイマツの実は2年かけて成熟する。

全域で見ることができ、ライチョウの営巣でもある。

国の特別天然記念物
ライチョウ

氷河期の生き残り、本州中部の高山帯のみに生息。日本は世界で最南限の生息域である。1700羽弱が日本に生息。温暖化の影響で近年急速に減少しており絶滅が危惧されている。

乗鞍岳のライチョウをファウンダーとした人工飼育による保護増殖事業が全国各地で行われている。



ライチョウ(メス)

「クウークウー」と鳴く。冬期以外は、まだら模様。



ライチョウ(オス)

眼の上に立派な肉冠がある。「グウーグウー」と鳴く。冬はメスと共に真っ白に換羽する。